



あなたの、いちばんであるために。

やましん

山梨信用金庫経営企画部

〒400-0032 甲府市中央 1-12-36

TEL 055-225-0213

ホームページアドレス

<https://www.yamasin.jp/>

中小企業景況レポート 2024 年 1～3 月期 No.65

2024.4.15 発刊

■ 調査要領 ■

- 調査対象
当金庫営業エリア内の取引先中小企業 120 社
- 調査時期・期間
調査時期：2024 年 3 月 1 日～7 日
調査期間：今期実績 2024 年 1 月～3 月
来期見通し 2024 年 4 月～6 月
- 調査方法
当金庫職員による訪問聞き取り調査
- 分析方法
D I を中心に分析
- 特別調査
「中小企業における人材戦略について」

■ 調査対象と回答状況 ■

業 種	企 業 数	回 答 数	回 答 率
製 造 業	28	28	100.0%
卸 売 業	15	15	100.0%
小 売 業	17	17	100.0%
サービス業	26	25	96.2%
建 設 業	23	21	91.3%
不 動 産 業	11	11	100.0%
合 計	120	117	97.5%

※ D I (Diffusion Index) とは

各質問事項で「良い（増加）」とした企業割合－「悪い（減少）」とした企業割合の構成比との差（判断 DI）による分析です。例えば、回答が以下のような場合の DI の算出方法は、次のとおりです。

（例）「良い・やや良い」の回答が 50%、「変わらず」の回答が 30%、「悪い・やや悪い」の回答が 20%の場合

DI は $50「良い・やや良い」 - 20「悪い・やや悪い」 = +30$ となります。DI 値が高いほど景気が良いことを示しています。

業 況 判 断 D I

業 種	前 期	今期実績			来期見通し		
		良い	悪い	D I	良い	悪い	D I
総 合	5.9	20.5	29.0	▲8.5	25.6	22.2	3.4
製 造 業	0.0	17.8	50.0	▲32.2	17.8	42.8	▲25.0
卸 売 業	28.5	26.6	40.0	▲13.4	33.3	13.3	20.0
小 売 業	6.2	17.6	11.7	5.9	29.4	11.7	17.7
サービス業	▲3.8	32.0	28.0	4.0	28.0	20.0	8.0
建 設 業	17.4	14.2	9.5	4.7	19.0	19.0	0.0
不動産業	▲9.0	9.0	27.2	▲18.2	36.3	9.0	27.3

業 種 別 景 気 天 気 図

業 種	前 期	今 期	見 通 し
総 合			
製 造 業			
卸 売 業			
小 売 業			
サービス業			
建 設 業			
不動産業			

※本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。また、掲載資料は、正確性・完全性を保証するものではありません。

※回答数：国中地区 67 社、東部地区 32 社、相模原周辺地区 18 社

31 以上	11～30	10～▲10	▲11～▲30	▲31 以上

概 況

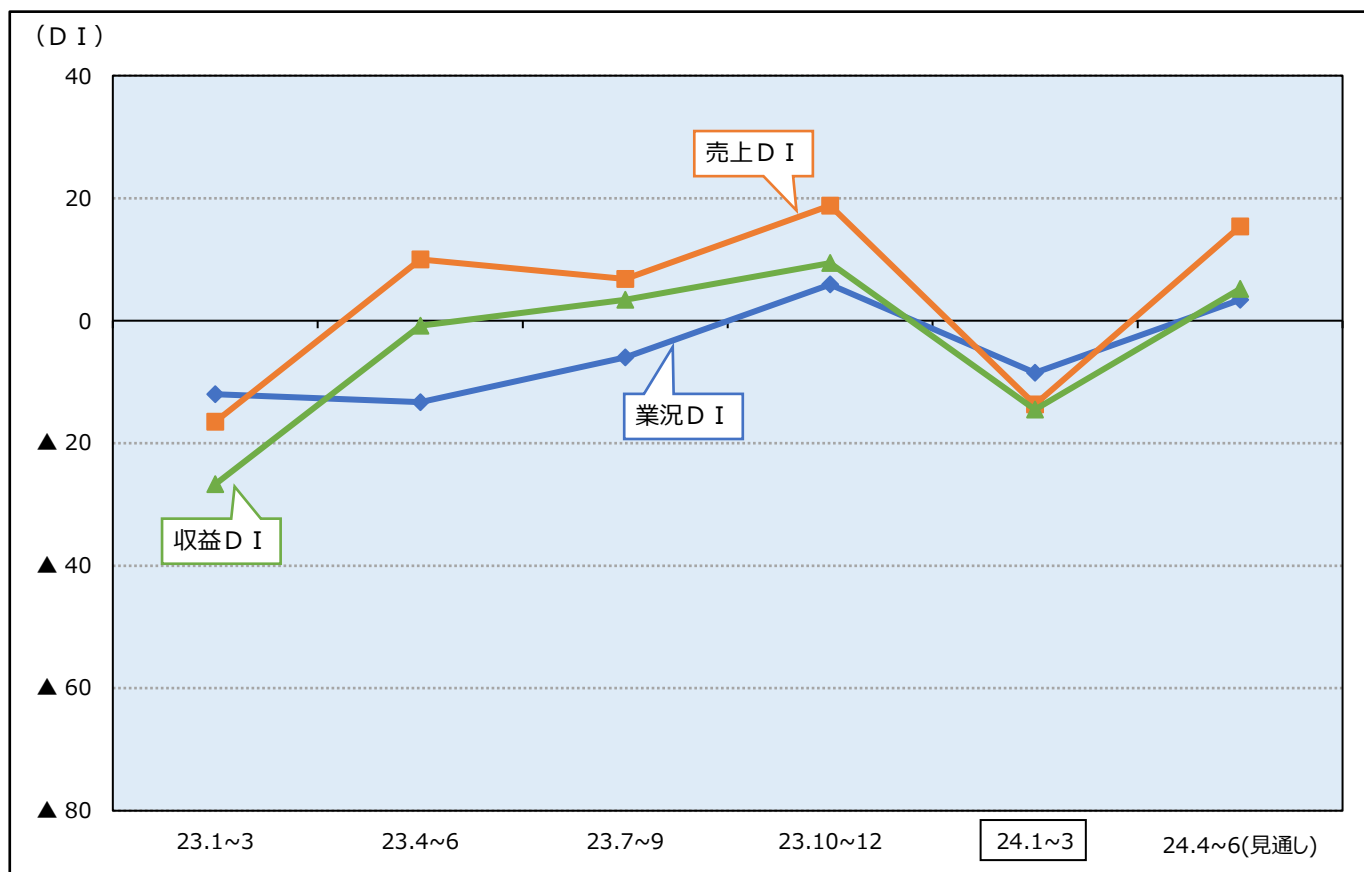
<業況・売上・収益>

今期（1～3 月、以下同じ。）のD Iをみると、業況D Iは前期（10～12 月、以下同じ。）5.9 から▲8.5 と、14.4 ポイント悪化（前年同期比 3.5 ポイント改善）しました。売上D Iは同 18.8 から▲13.7と、32.5 ポイント悪化（同比 2.8 ポイント改善）、収益D Iは同 9.4 から▲14.5と、23.9 ポイント悪化（同比 12.2 ポイント改善）しました。

全業種総合の来期見通し（4～6月、以下同じ。）をみると、業況D Iは今期▲8.5から3.4と、今期実績比 11.9 ポイント改善の見通しとなりました。売上D Iは同▲13.7から 15.4と、同比 29.1 ポイント改善、収益D Iは同▲14.5 から 5.2 と、同比 19.7 ポイント改善の見通しとなりました。

■ 業況・売上・収益D Iの時系列推移 ■

	23.1～3	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6 見通し
業 況 D I	▲12.0	▲13.3	▲6.0	5.9	▲8.5	3.4
売 上 D I	▲16.5	10.0	6.8	18.8	▲13.7	15.4
収 益 D I	▲26.7	▲0.8	3.4	9.4	▲14.5	5.2

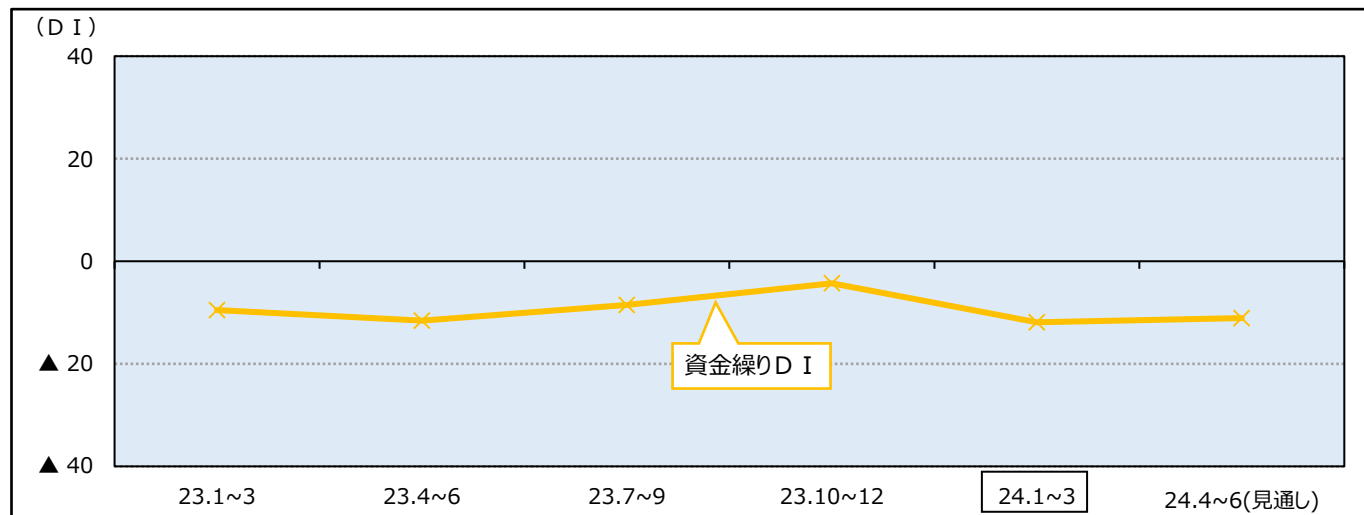


<資金繰り>

今期の資金繰りD Iは前期▲4.3 から▲11.9 と、7.6 ポイント悪化（前年同期比 2.4 ポイント悪化）しました。また、来期は▲11.1と、今期実績比 0.8 ポイント改善の見通しとなりました。

■ 資金繰りD Iの時系列推移 ■

	23.1～3	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6 見通し
資金繰りD I	▲9.5	▲11.6	▲8.5	▲4.3	▲11.9	▲11.1



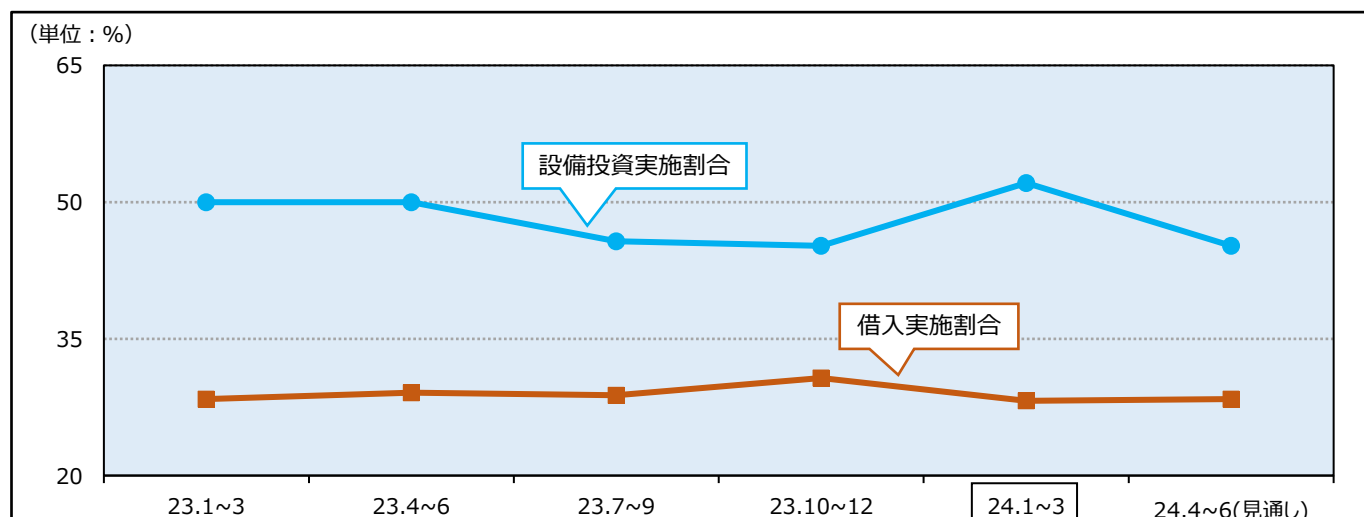
<設備投資・借入動向>

今期の不動産業を除いた設備投資実施企業割合は、前期 45.2%から 52.1%と、前期比 6.9 ポイント上昇（前年同期比 2.1 ポイント上昇）しました。また、来期は 45.2%と、今期実績比 6.9 ポイントの低下が見込まれます。

全業種総合の借入実施企業割合は、前期 30.7%から 28.2%と、前期比 2.5 ポイント低下（前年同期比 0.2 ポイント低下）しました。また、来期は 28.4%と、今期実績比 0.2 ポイントの上昇が見込まれます。

■ 設備投資・借入実施動向の時系列推移 ■

	23.1～3	23.4～6	23.7～9	23.10～12	24.1～3	24.4～6 見通し
設備投資実施割合	50.0%	50.0%	45.7%	45.2%	52.1%	45.2%
借入実施割合	28.4%	29.1%	28.8%	30.7%	28.2%	28.4%



製造業

■ 主要D Iの推移 ■

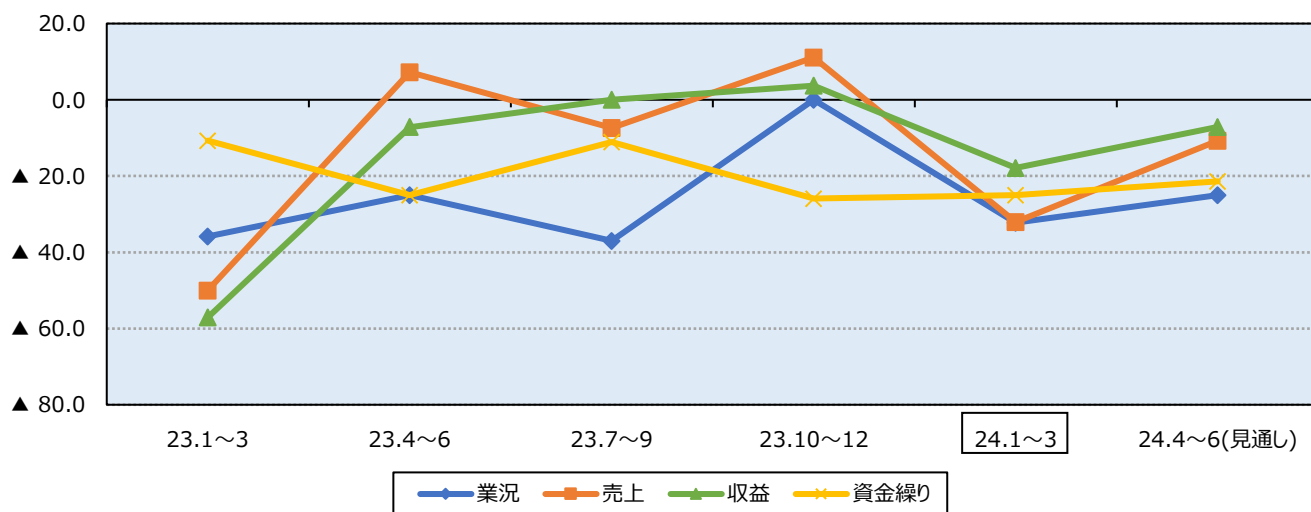
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲35.8	0.0	▲32.2	▲25.0
売 上	▲50.0	11.1	▲32.1	▲10.7
収 益	▲57.1	3.7	▲17.9	▲7.1
資 金 繰 り	▲10.7	▲25.9	▲25.0	▲21.4

【今期】

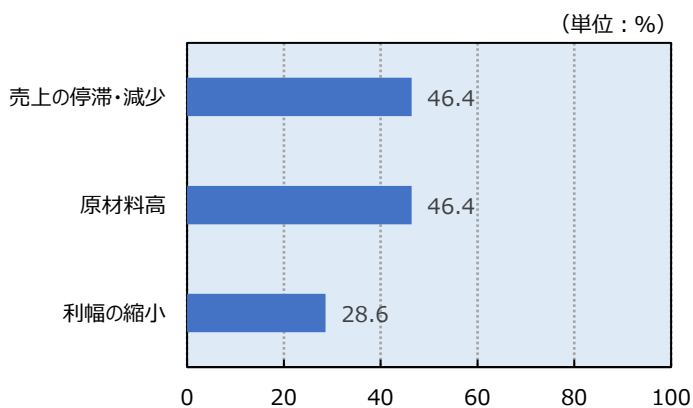
前期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて改善しました。

【来期】

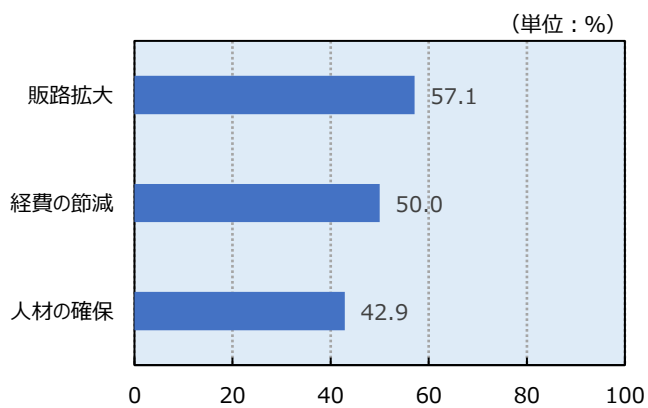
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 若手の人材獲得や業務の属人化解消に注力している。(精密機械部品)
- コンサルティング業者の導入により、収益力改善を図っている。(精密板金加工部品)

卸 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

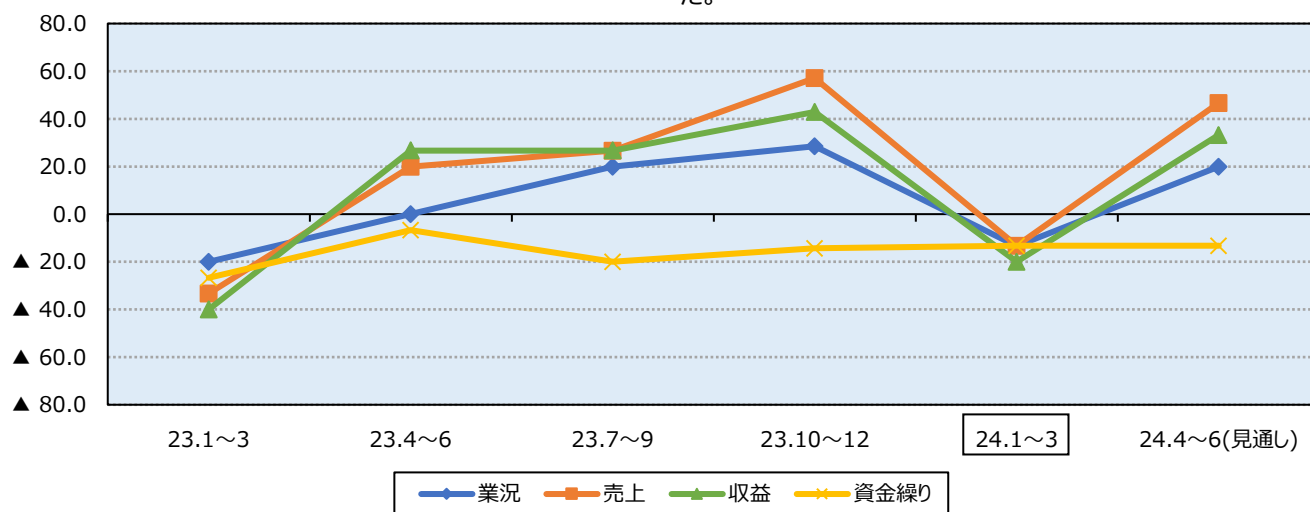
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲20.0	28.5	▲13.4	20.0
売 上	▲33.3	57.1	▲13.3	46.7
収 益	▲40.0	42.9	▲20.0	33.3
資 金 繰 り	▲26.7	▲14.3	▲13.3	▲13.3

【今期】

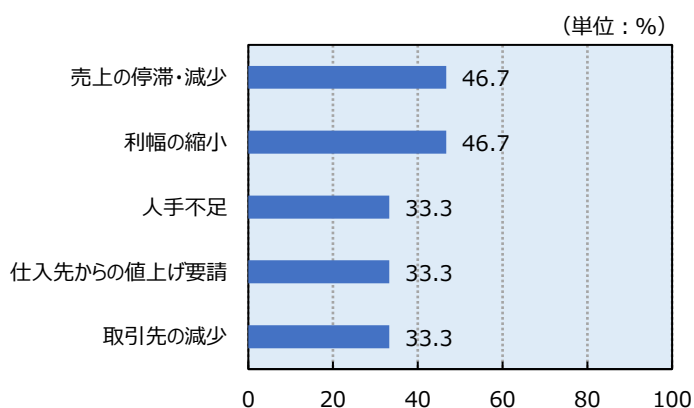
前期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。特に、売上D Iで同比 70.4 ポイント、収益D Iで同比 62.9 ポイントと大きく悪化しました。前年同期比では、すべてのD Iが改善しました。

【来期】

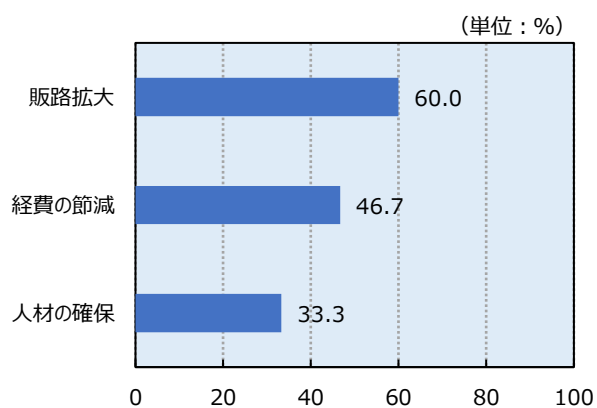
今期実績比で、資金繰りD Iを除いて改善の見通しとなりました。特に、売上D Iが同比 60.0 ポイント、収益D Iが同比 53.3 ポイントと大きく改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 営業部門の人材不足が顕著であり、即戦力となる人材を求めている。（美容器具）
- 天候の影響による売上減少、また、取引先となる飲食店の業況悪化が懸念される。（水産物）

小 売 業

■ 主要D Iの推移 ■

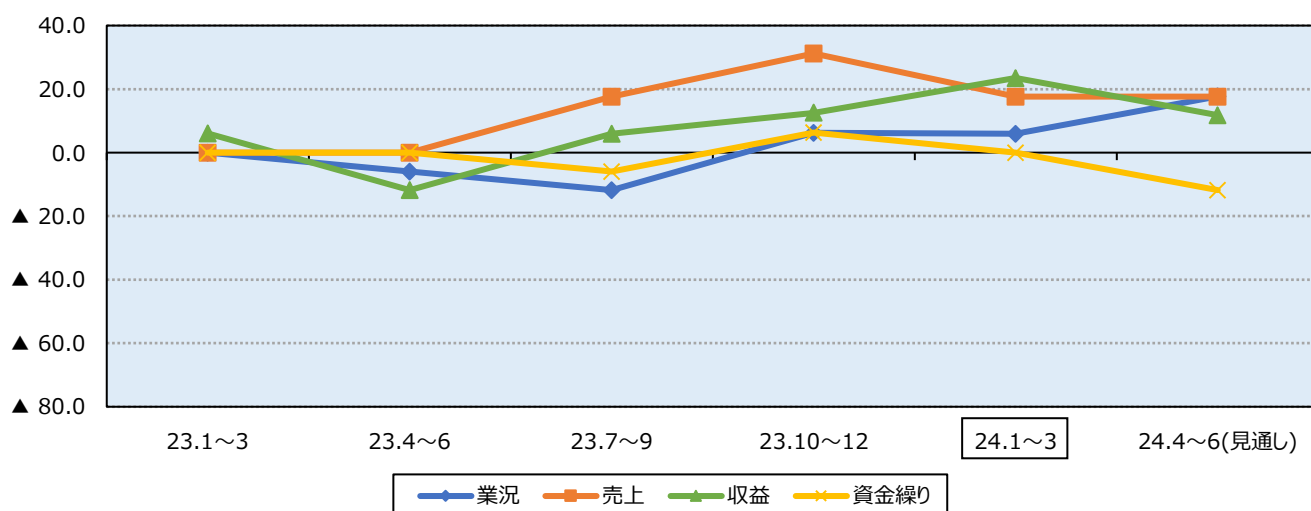
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	0.0	6.2	5.9	17.7
売 上	0.0	31.2	17.6	17.6
収 益	6.3	12.5	23.5	11.8
資 金 繰 り	0.0	6.3	0.0	▲11.8

【今期】

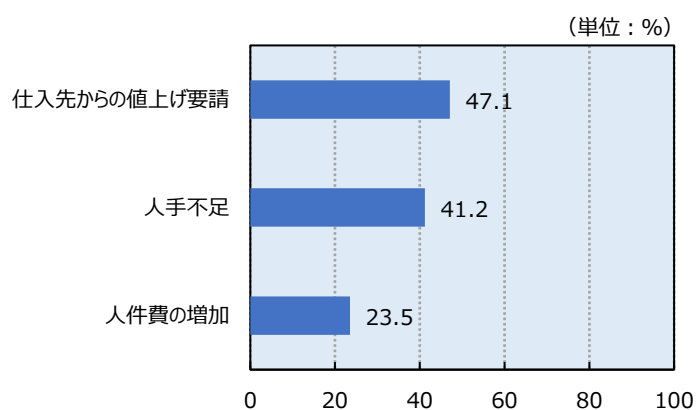
前期比で、収益D Iを除いて悪化しました。前年同期比では、資金繰りD Iを除いて改善しました。

【来期】

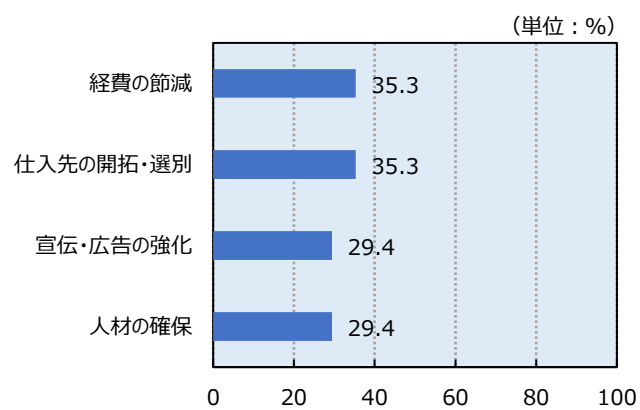
今期実績比で、業況D Iが改善、売上D Iが横這い、収益D Iと資金繰りD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

- 生産性向上のため、設備の入れ替えを検討している。(発酵食品)
- 今後の業況の見通しが不透明であり、賃上げについては慎重に対応していく。(酒類)

サービス業

■ 主要D Iの推移 ■

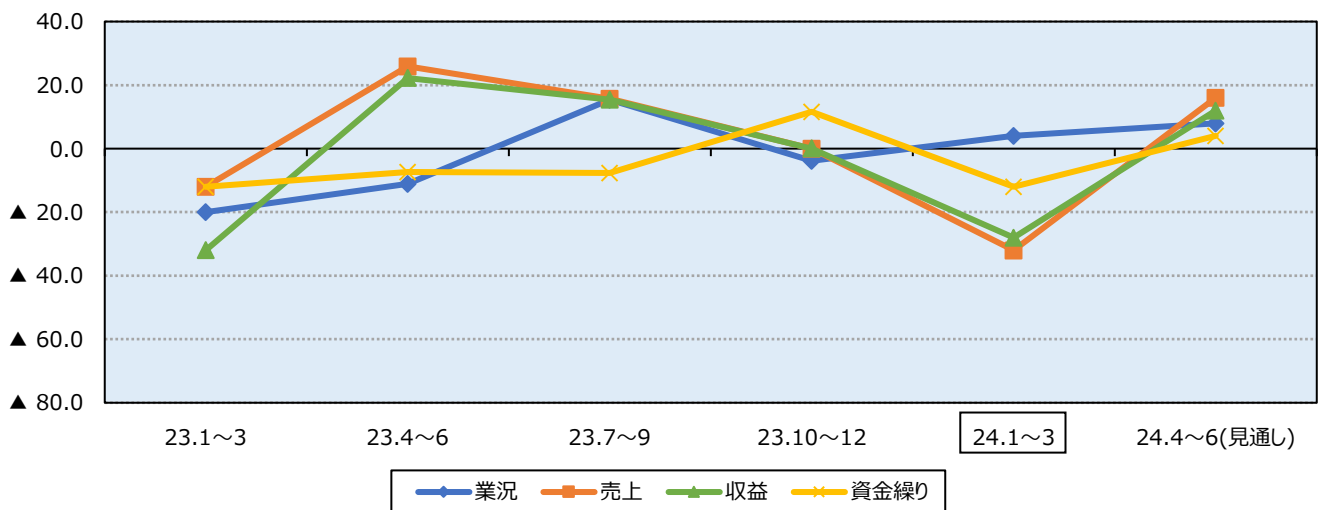
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	▲20.0	▲3.8	4.0	8.0
売 上	▲12.0	0.0	▲32.0	16.0
収 益	▲32.0	0.0	▲28.0	12.0
資 金 繰 り	▲12.0	11.6	▲12.0	4.0

【今期】

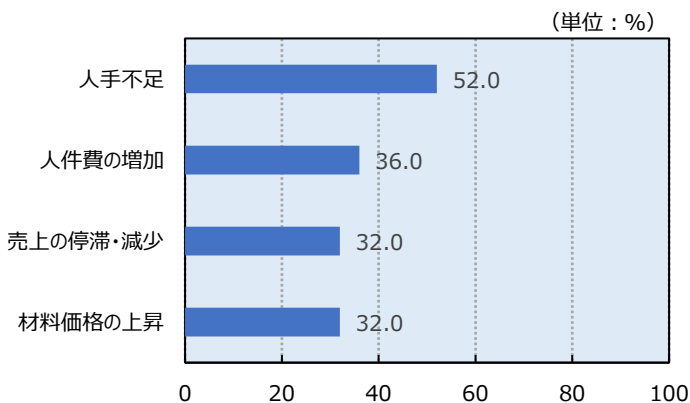
前期比で、業況D Iを除いて悪化しました。前年同期比では、業況D Iと収益D Iが改善、売上D Iが悪化、資金繰りD Iが横這いとなりました。

【来期】

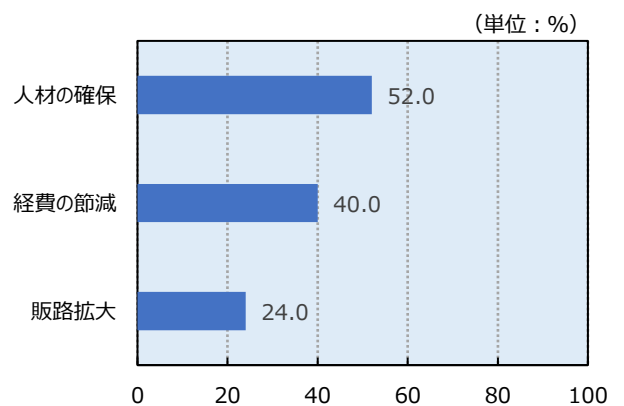
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。特に、売上D Iが同比 48.0 ポイント、収益D Iが同比 40.0 ポイントと大きく改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○給与の引き上げにより、従業員の定着率向上を図っている。(観光・レジャー)

○昨今の燃料費の高騰や 2024 年問題により、売上の減少が懸念される。(運送)

建設業

■ 主要D Iの推移 ■

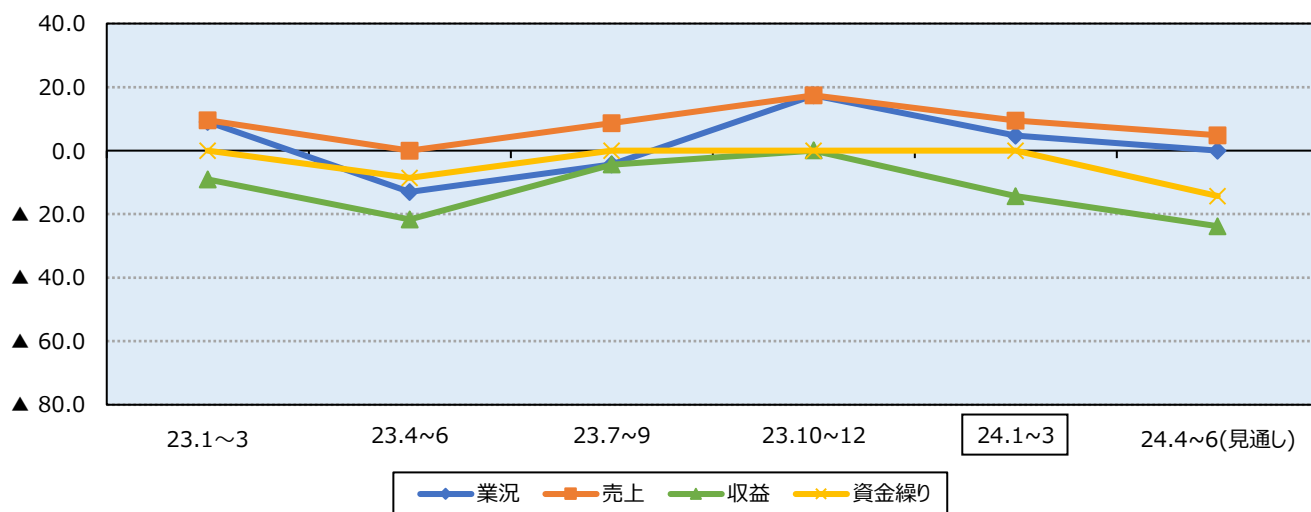
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	9.1	17.4	4.7	0.0
売 上	9.6	17.4	9.5	4.8
収 益	▲9.1	0.0	▲14.3	▲23.8
資 金 繰 り	0.0	0.0	0.0	▲14.3

【今期】

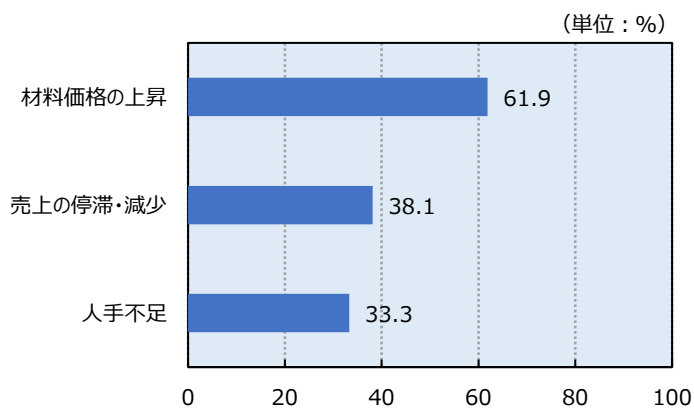
前期比および前年同期比で、資金繰りD Iを除いて悪化しました。

【来期】

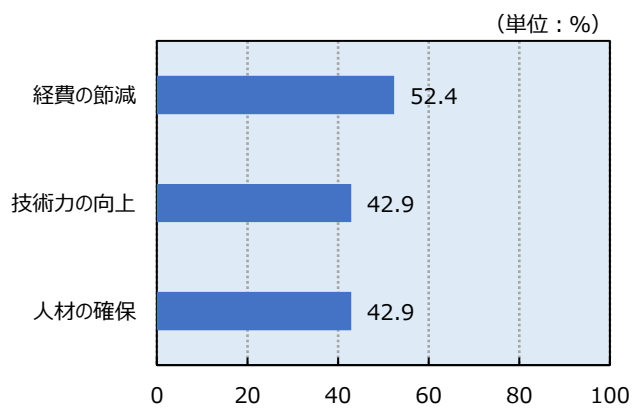
今期実績比で、すべてのD Iが悪化の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○従業員の技術力向上と人材確保が今後の課題となる。(設備工事)

○人員不足のなか、工期に追われる状況下であり、事故防止等の安全面に一層気を配っている。(建築)

不動産業

■ 主要D Iの推移 ■

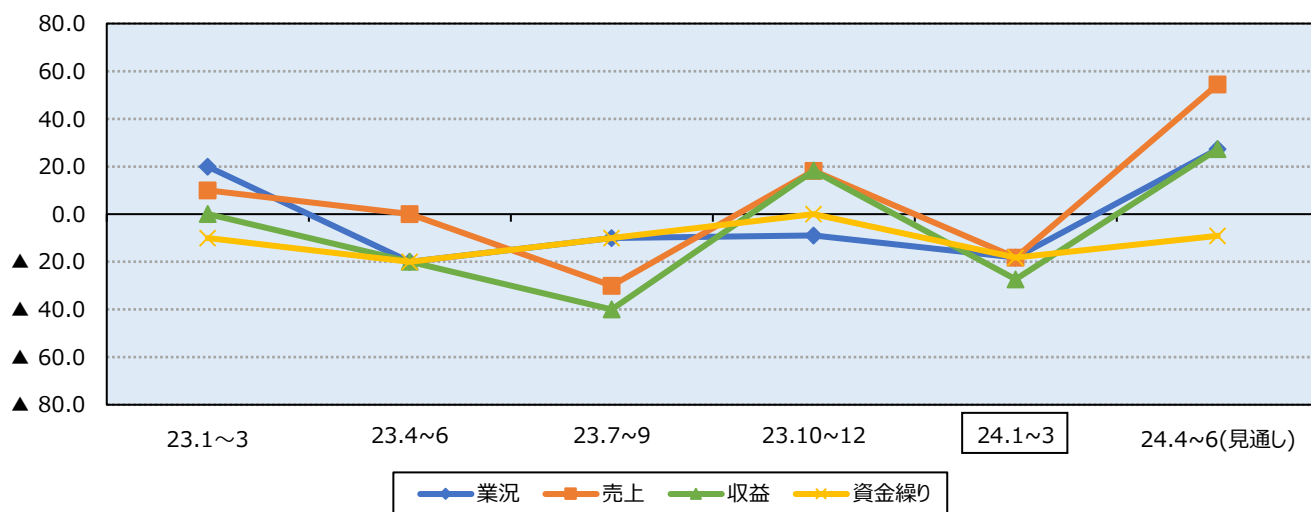
	前年同期	前期	今期	来期
業 況	20.0	▲9.0	▲18.2	27.3
売 上	10.0	18.2	▲18.2	54.5
収 益	0.0	18.2	▲27.3	27.3
資 金 繰 り	▲10.0	0.0	▲18.2	▲9.1

【今期】

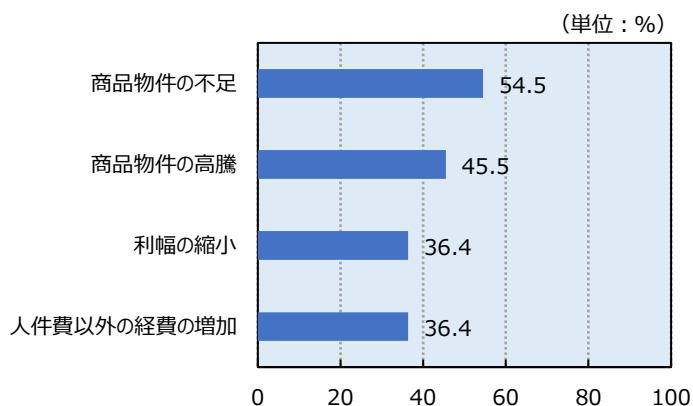
前期比および前年同期比で、すべてのD Iが悪化しました。業況D Iは4期連続でマイナス値となりました。

【来期】

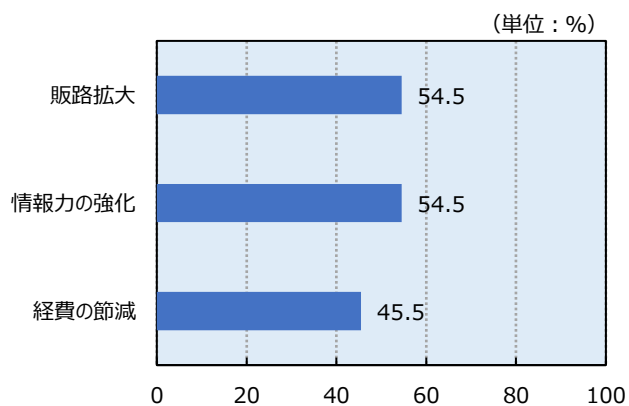
今期実績比で、すべてのD Iが改善の見通しとなりました。業況D Iで同比 45.5 ポイント、売上D Iで同比 72.7 ポイント、収益D Iで同比 54.6 ポイントと大きく改善の見通しとなりました。



■ 経営上の問題点 ■



■ 当面の重点経営施策 ■



【調査員のコメント】

○従業員に対しては業務上必要な資格の取得支援を行うとともに、社内研修や外部セミナーへの積極的な参加を促している。（不動産売買）

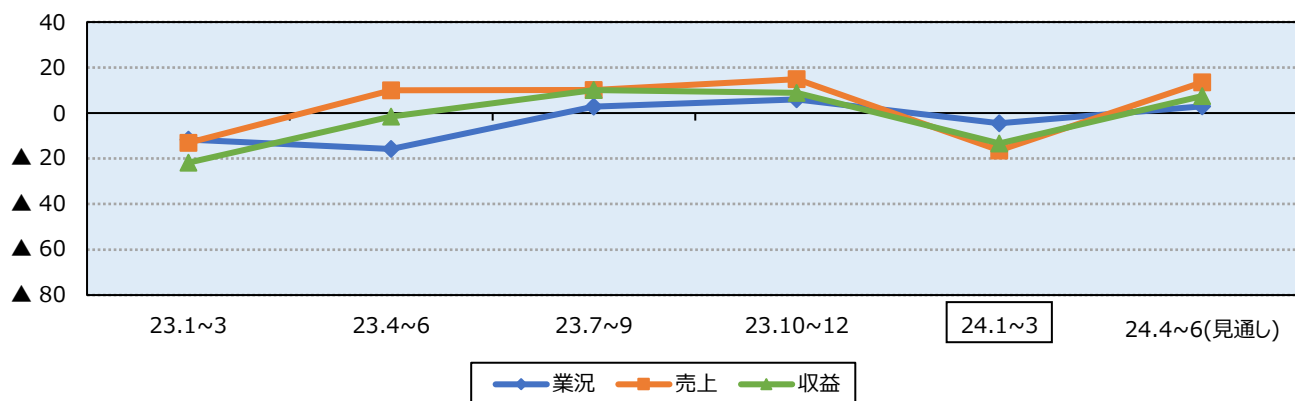
○同業者間の競争が激しく、商品物件の不足や仕入価格高騰が問題となっている。（不動産売買）

＜地区別 D I の状況＞

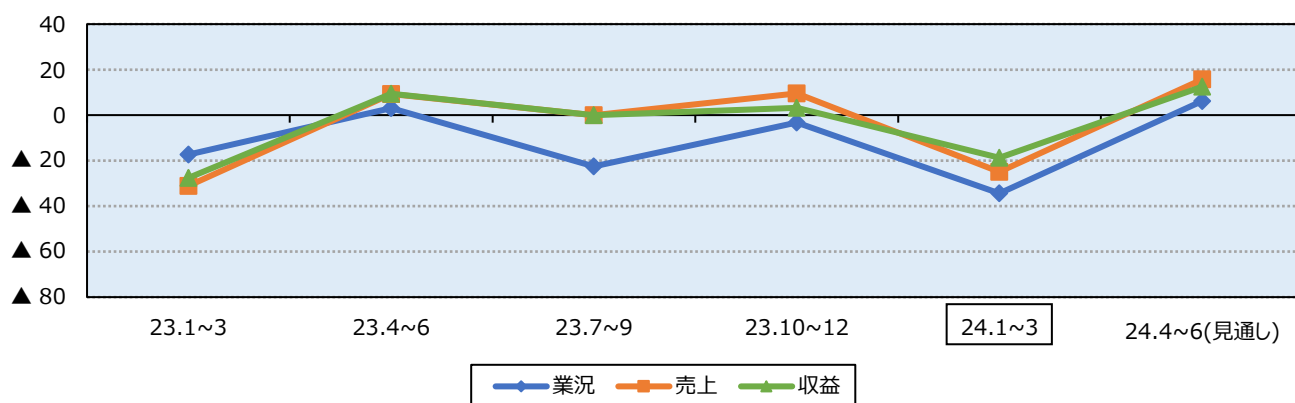
すべての地区で、前期比ですべての D I が悪化しました。山梨県国中地区と東部富士五湖地区では、1 年振りにすべての D I がマイナス値となりました。前年同期比では、山梨県国中地区で業況 D I と収益 D I、東部富士五湖地区で売上 D I と収益 D I、相模原周辺地区ですべての D I が改善しました。

来期見通しについては、山梨県国中地区と東部富士五湖地区で、すべての D I が今期実績比で改善の見通しとなりました。相模原周辺地区では、同比で業況 D I が悪化、売上 D I が改善、収益 D I が横這いの見通しとなりました。

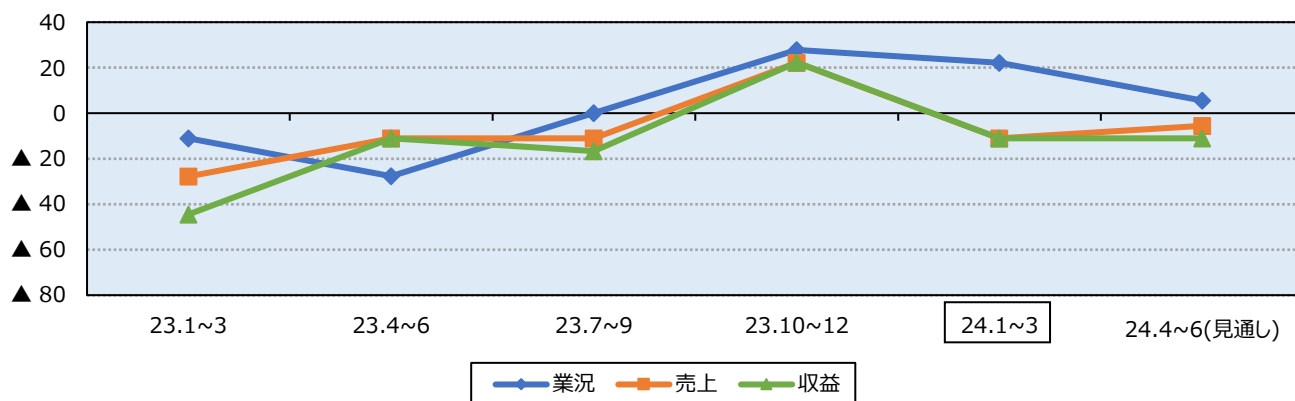
【 山梨県国中地区 D I の推移 】



【 東部富士五湖地区 D I の推移 】

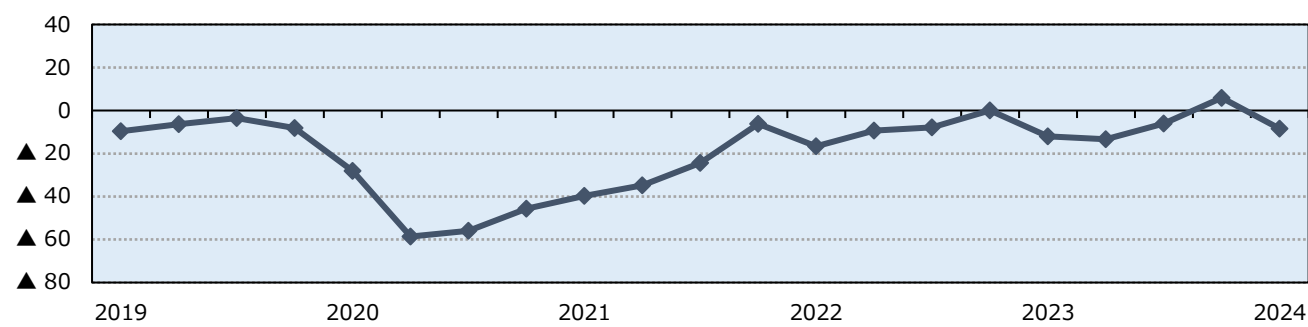


【 相模原周辺地区 D I の推移 】

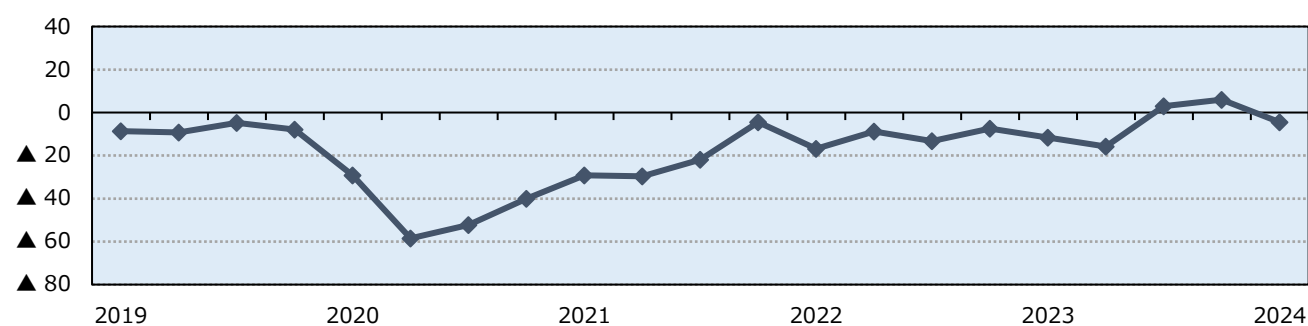


<業況D I の5年間の推移>

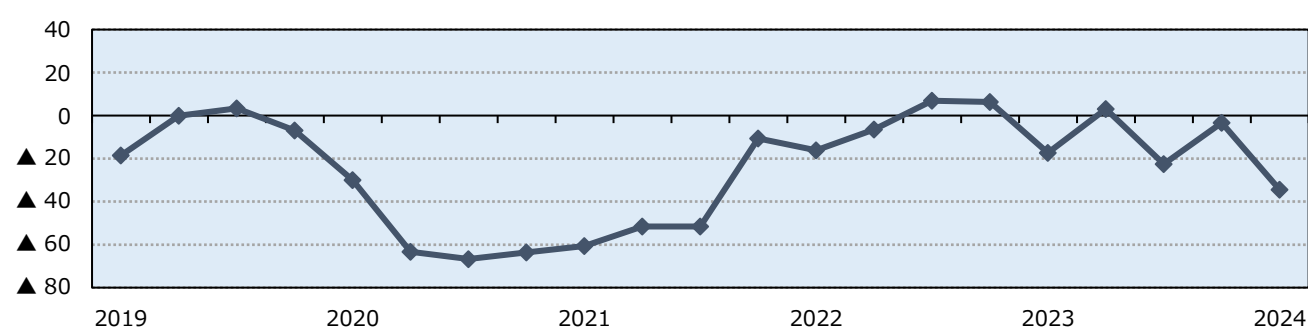
【 総合D I の推移 】



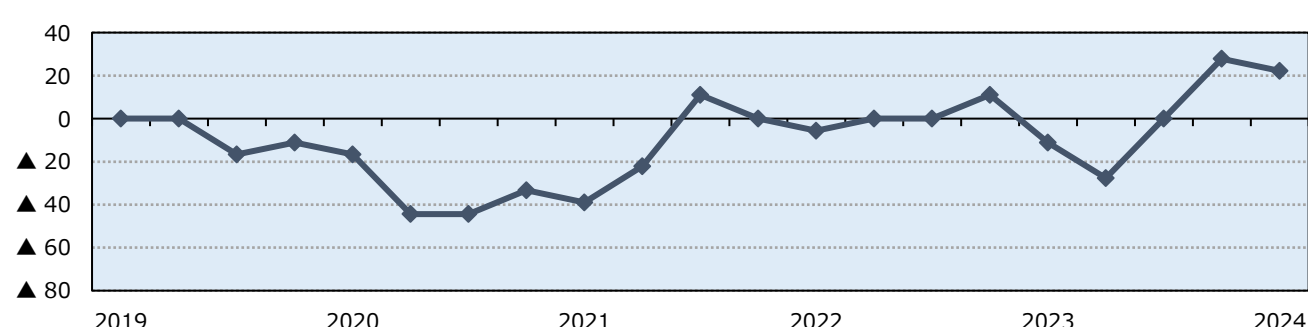
【 山梨県国中地区D I の推移 】



【 東部富士五湖地区D I の推移 】



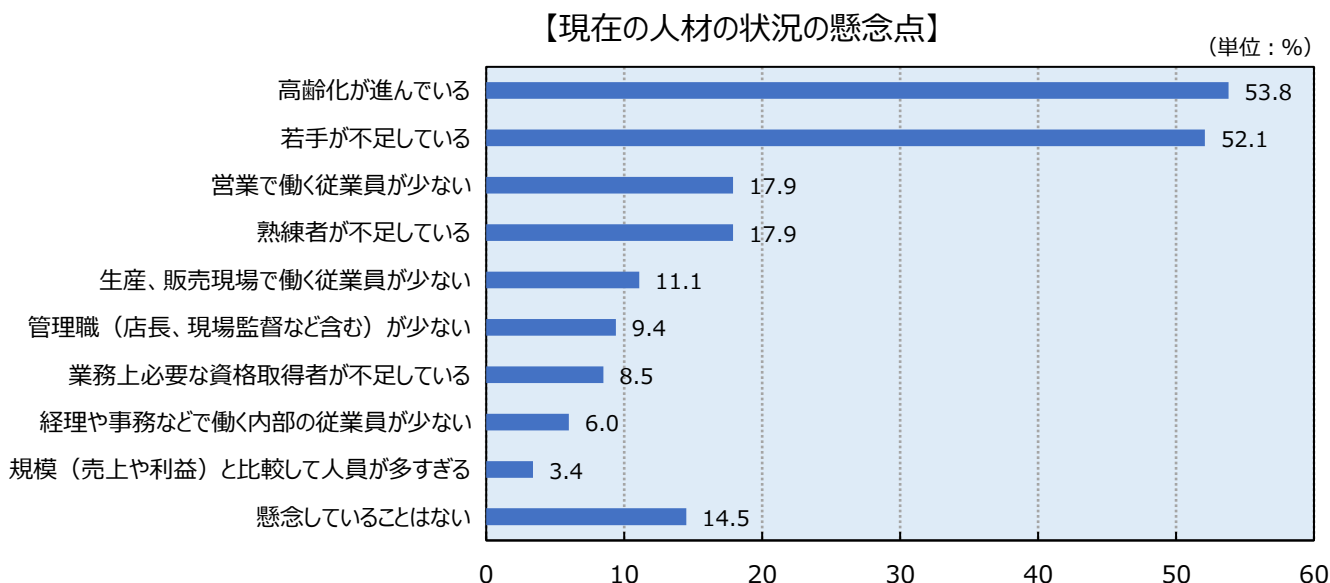
【 相模原周辺地区D I の推移 】



中小企業における人材戦略について （回答企業：117社）

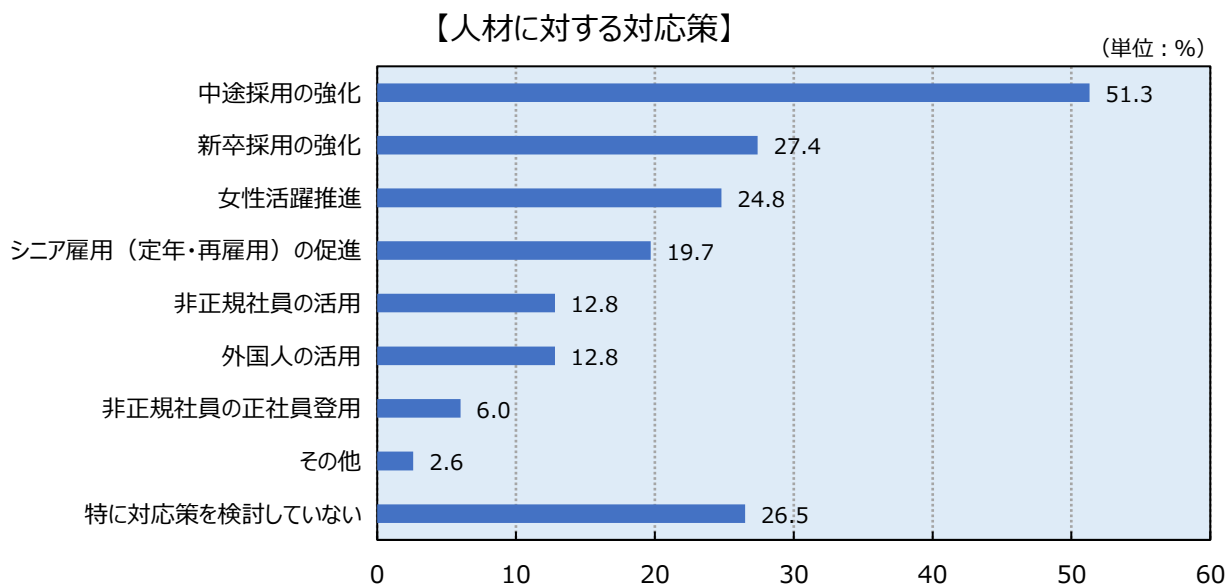
問1 貴社では、現在の人材の状況に懸念していることはありますか。最大3つまで選んでお答えください。

- 「高齢化が進んでいる」と回答した企業が53.8%と最も多く、次いで「若手が不足している」が52.1%、「営業で働く従業員が少ない」と「熟練者が不足している」がともに17.9%となりました。
- 「懸念していることはない」と回答した企業は14.5%となりました。



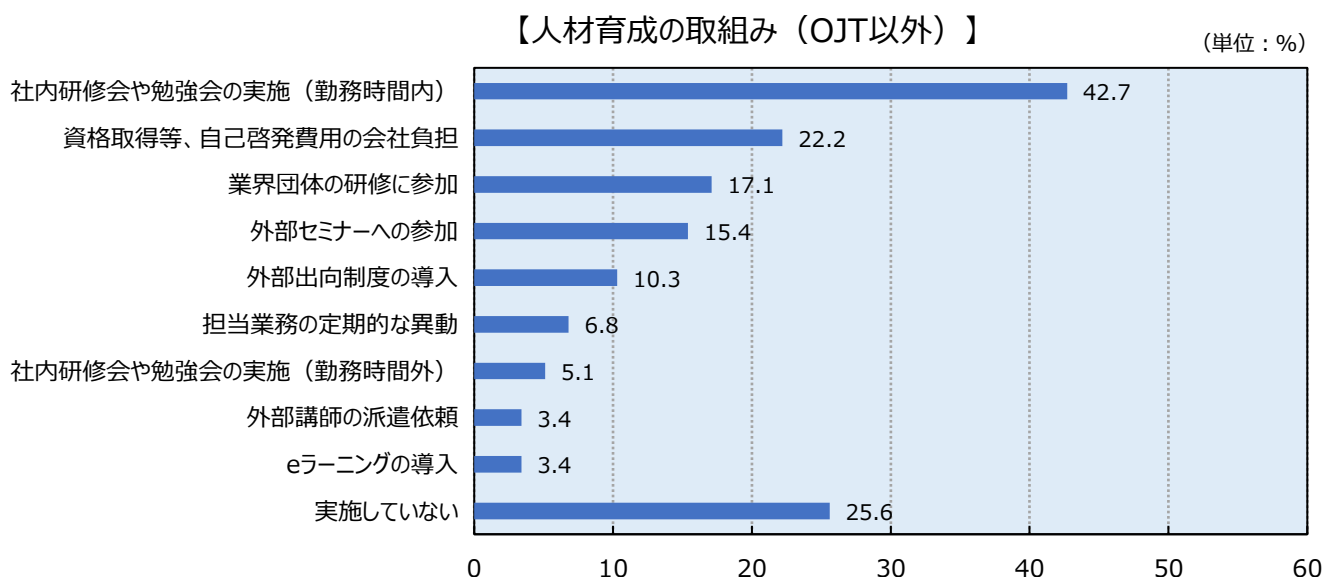
問2 今後の貴社の人材に対する対応策について、最も近いものを最大3つまで選んでお答えください。

- 「中途採用の強化」が51.3%と最も多く、次いで「新卒採用の強化」が27.4%となりました。
- その他の回答では、「女性活躍推進」が24.8%、「シニア雇用（定年・再雇用）の促進」が19.7%となりました。
- 「特に対応策を検討していない」と回答した企業は26.5%となりました。



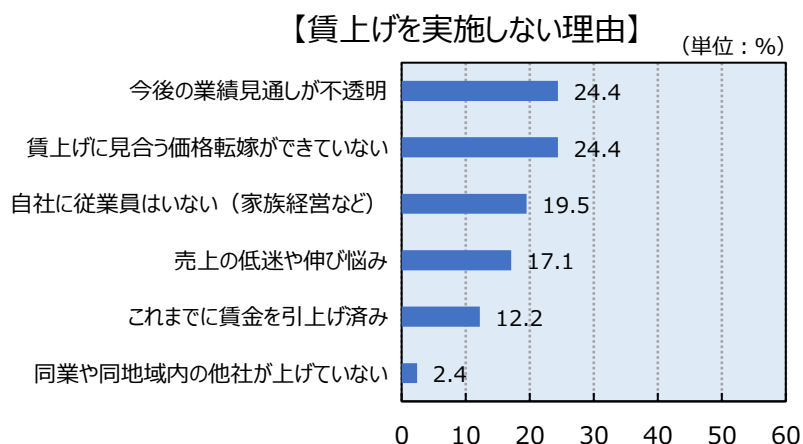
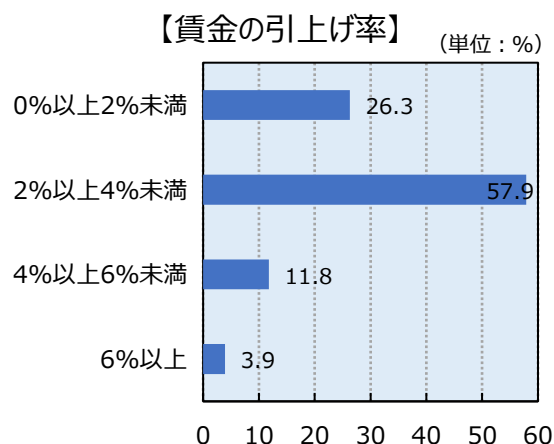
問3 貴社では、人材育成において、職場内での実地の訓練（OJT）以外の取組みを実施していますか。あてはまるものを最大3つまで選んでお答えください。

- 「社内研修会や勉強会の実施（勤務時間内）」と回答した企業が42.7%と最も多い結果となりました。
- その他の回答では、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」が22.2%、「業界団体の研修に参加」が17.1%、「外部セミナーへの参加」が15.4%となりました。
- 「実施していない」と回答した企業は25.6%となりました。



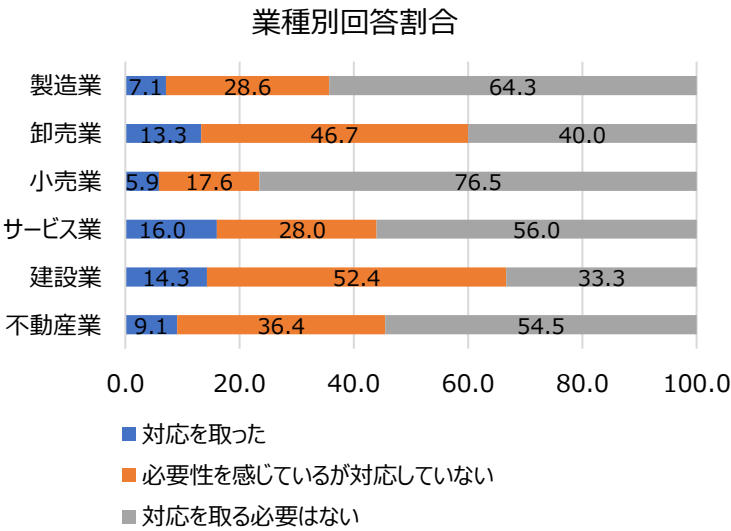
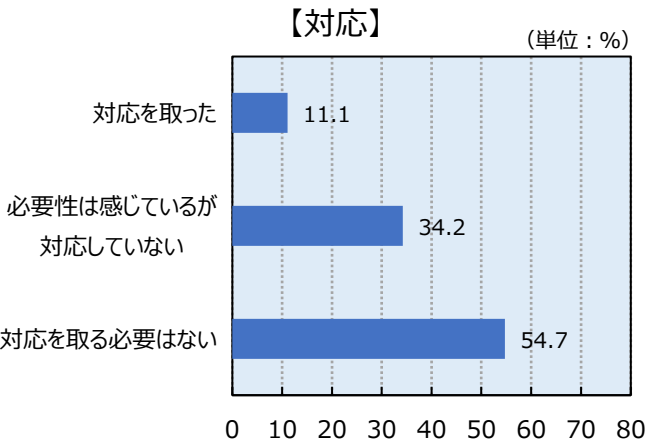
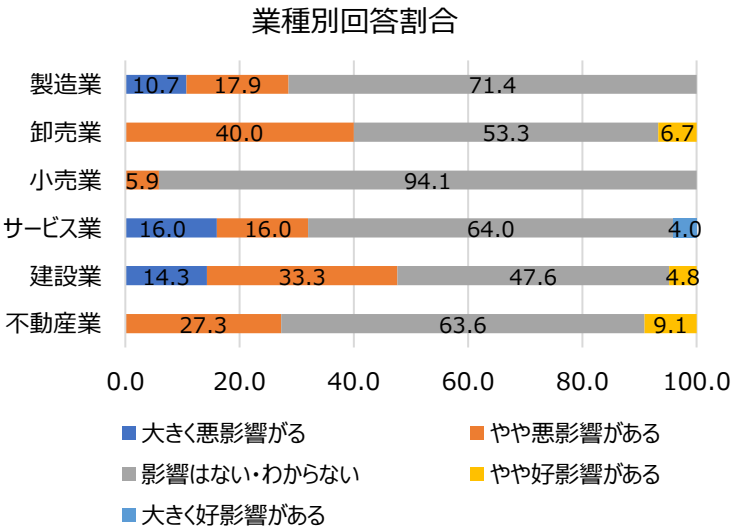
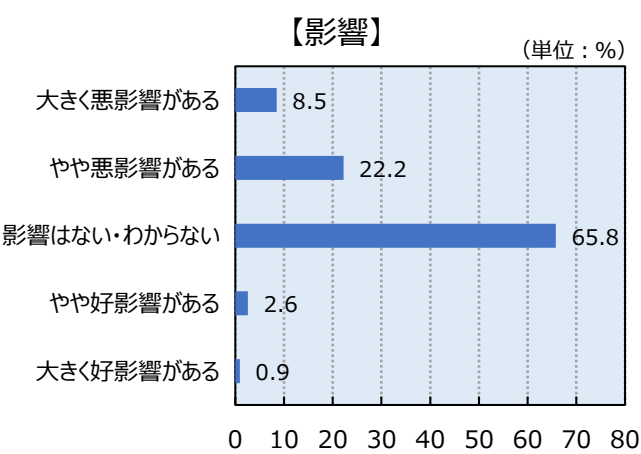
問4 貴社では、人材定着などに向けて、2024 年中に賃金（定期昇給分除く、賞与や一時金除く）の引き上げを実施（実施予定を含む。）しますか。引き上げる場合はその賃金引き上げ率について、引き上げない場合はその理由について、それぞれお答えください。

- 2024 年中に賃金の引き上げを実施すると回答した企業は76社（65.0%）で、引き上げ率については「2%以上4%未満」が57.9%と最も多く、次いで「0%以上2%未満」が26.3%となりました。
- 2024 年中に賃金の引き上げを実施しないと回答した企業は41社（35.0%）で、理由については「今後の業績見通しが不透明」と「賃上げに見合う価格転嫁が出来ていない」が24.4%と最も多く、次いで「自社に従業員はいない（家族経営など）」が19.5%、「売上の低迷や伸び悩み」が17.1%となりました。



問5 2024年4月から、建設業、自動車運転業、医師などで残業時間の上限規制が始まります（2024年問題）。これに伴い、貴社では、業務への影響が出ると見込まれますか。また、貴社では2024年問題を受けて何らかの対応策を取りましたか。

- 「影響はない・わからない」と回答した企業が65.8%と最も多く、次いで「やや悪影響がある」が22.2%、「大きく悪影響がある」が8.5%となりました。
- 2024年問題への対応について、「対応を取る必要はない」と回答した企業が54.7%と最も多く、次いで「必要性を感じているが対応していない」が34.2%、「対応を取った」が11.1%となりました。



★地域のイベント情報

滝沢川あやめ祭り（開催日：4月28日）

⇒会場には約7万本のアヤメが咲き誇る。紙芝居や縁日コーナー、和太鼓や吹奏楽のステージのほか、流鏝馬発祥の地にちなみ、乗馬や弓矢を打つ体験ができる。

会場：滝沢川公園

交通アクセス：中部横断道南アルプスICより車で約5分

こいこいまつり（開催日：5月上旬）

⇒沢井川に3本のワイヤーを渡し、約200匹の鯉のぼりが群泳する。同時開催の「みちくさ会」では、地元の野菜や山菜が販売される。

会場：相模原市緑区佐野川「和田」バス停周辺

交通アクセス：JR 藤野駅よりバスで約15分

スイートコーンマラソン＆ウォーク（開催日：6月中旬）

⇒日本の名峰や甲府盆地の大パノラマ、懐かしい里山の風景やとうもろこし畑を堪能できるコースが用意されている。参加賞に地元で収穫された朝採りスイートコーンなどのお土産セットが提供される。

会場：YSKe-com シルクパーク

交通アクセス：中央自動車道甲府南ICより車で約10分

編集後記

このたびの中小企業景気動向調査については、お忙しい中、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

今期のDI調査では、総合ですべてのDIが前期（10月～12月）比で悪化し、1年振りにすべてのDIがマイナス値となりました。アフターコロナにおける景気の回復傾向が一服し、経営上の問題点として「売上の停滞・減少」を挙げる企業が増加しました。また、原材料価格の高騰が長期化しており、利益の確保に苦慮する企業も依然として多い状況です。

特別調査では、「中小企業における人材戦略について」と題し調査しました。自社における人材の状況について、「若手の不足」や「高齢化が進んでいる」と回答した企業が多い結果となりました。また、「2024年問題」の影響について、約65%の企業が「影響はない・わからない」とした一方、その対応については、約34%の企業が「必要性は感じているが対応していない」と回答しました。

当金庫では、お客さまの資金繰り支援はもとより、本業支援にも積極的に取り組んでおります。経営に関する様々な相談を受け付けており、外部専門機関との連携等を通じた情報提供や課題解決に注力しております。ぜひ、お近くの営業店や担当者までご相談ください。